

4. 海外研修の成果 「自立発展性の確保のために必要な7項目」

帰国報告会に先立ち、参加者全員でワークショップを開催し、海外研修の成果としてまとめた。自立発展性を確保してプロジェクトを終了するために必要な項目を抽出し、以下の7項目にまとめた。

自立発展性の確保のために必要な7項目

- ① プロジェクト形成時の必須項目
- ② 地域の特性を活かした住民の参加
- ③ 人的資源の発掘と育成・オーナーシップの形成
- ④ 自己管理・自主的発展できる組織運営
- ⑤ 適切な技術・投入物と活用できるシステム
- ⑥ 地域・関係者間の連携
- ⑦ 形成時に配慮すべき外部要因

① プロジェクト形成時の必須項目

- ・ プロジェクト終了時のイメージ・時期の共有
- ・ 研修などインプットを活かす仕組み
- ・ 達成可能な目標の設定

② 地域の特性を活かした住民の参加

- ・ 住民のニーズの把握
- ・ 地域住民のニーズとの整合性
- ・ 地域住民 NGO-JICA のオーナーシップ醸成
- ・ 住民との信頼関係
- ・ ボランティアの活用
- ・ コミュニティ活動の活性化

③ 人的資源の発掘と育成・オーナーシップの形成

- ・ 適切な人選
- ・ 根付く人材の確保
- ・ 人材育成
 - ↑ {
 - ・ 責任感、目的意識を持って問題解決していく姿勢
 - ・ 活動に関わる人の働く喜びの共有
 - ・ 活動に関わる人の誇りの共有
 - ・ 後継者育成
 - ・ C.P.の能力強化
 - ・ スタッフへの研修

- ・ 活動を実施する人へのインセンティブ確保

④ 自己管理・自主的发展できる組織運営

- ・ 組織運営
- ・ 組織内での目標の共有
- ・ 自己管理システム
- ・ データの蓄積・管理と自分達の活動のモニタリング
- ・ モニタリングとその結果に基づく計画変更
- ・ 組織の運営マニュアルの整備

- ・ 職務管理
- ・ 会計管理

- ・ 財源の確保
- ・ 予算（資金源）の確保

⑤ 適切な技術・投入物と活用できるシステム

- ・ 適切な機材の導入
- ・ 導入された機材・設備（教材）の維持管理システム
 - ↑ { ・維持する人材
 - ・維持管理費
- ・ 機材を活かす研修・システム

⑥ 地域・関係者間の連携

- ・ 同じ職種のつながり
- ・ 関係者間の連携
- ・ 風通しのよい関係者のコミュニケーション
- ・ NGO、ドナーとのパートナーシップ
- ・ 行政機関とのパートナーシップ
- ・ 行政の政策・計画との整合性
- ・ 地域との連携

⑦ 形成時に配慮すべき外部要因

- ・ 地域の現状の把握と住民の自覚
- ・ 住民の生活レベルがある程度安定している
- ・ 住民の基礎教育
- ・ 識字率の高さ

- ・ 地域性の活用
- ・ 社会の特性・背景を活かす
- ・ 高等教育を受けた人材の層の厚さ

帰国報告会では、参加者は A,B,C の 3 グループに分かれ、7 項目の成果を以下のとおり分担して発表した。各グループの発表内容は次章「海外研修報告会発表」のとおり。

項目	担当グループ
① プロジェクト形成時における必須項目	C
② 地域の特性を活かした住民の参加	C
③ 人的資源の発掘と育成・オーナーシップの形成	A
④ 自己管理・自主的发展できる組織運営	B
⑤ 適切な技術・投入物と活用できるシステム	B
⑥ 地域・関係者間の連携	A
⑦ 形成時に配慮するべき外部要因	C